

施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	8・4・2	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
②	施策名	環境に配慮した水処理の推進					
③	目標	上水道などの飲料水の確保に満足している町民の割合		施策の内容	衛生的で快適な暮らしを支え、公共用水域の環境負荷の低減をめざし、下水道・合併浄化槽による水洗化の普及を推進します。また、既存下水道施設等の長寿命化及び耐震対策による適正な維持管理を実施し、公衆衛生・生活環境の向上を図ります。		
		下水道の整備と汚水や雨水の処理に満足している町民の割合					
④	現状と課題	◆ 本町は、集落が広範囲に散在しており、多様な地理的条件を有していることから、水道普及率が低迷しています。今後は水道水源の確保はもとより、地域それぞれの特性を生かした効率的な整備が必要です。 ◆ 公共下水道は、計画区域面積の89.4%（平成26年3月末日現在）まで整備が進んでおり、宅地への公共樹設置は完了しています。今後は、水洗化の普及に努めるとともに、下水道等処理区域外の地区については、合併浄化槽の普及に努める必要があります。 ◆ 安全で安定的な水供給・処理を維持していくため、公共下水道及び農業集落排水施設の老朽化への対応や耐震性の向上など長期的な視点に立った維持管理が重要な課題となっています。					
⑤							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
水洗化普及率	%	69.9	-	-	-	79.5	
			-	59.6			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	53,611	60,473	100,985	77,042	106,842

1年間の取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	公共下水道、農業集落排水事業の長寿命化及び汚水処理の適正化構想に着手した。汚水管渠工事については、道路改良事業と同時に施行することで、コスト削減を図った。浄化槽については、その普及を推進した。
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩	今後の取組	適正な維持管理をするための施設の長寿命化対策を実施するとともに、将来における下水道の維持管理費の削減と効率化を図るため、公共下水道と農業集落排水事業を併せた汚水処理基本構想を検討する。
---	-------	--

⑪	次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】